

■当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

| | |
|-------------------------|--|
| 研究課題名 | HER2陽性乳癌におけるトラスツズマブ治療反応性の後ろ向き観察研究 |
| 当院の研究責任者 | 那覇西クリニック 玉城 研太郎 |
| 他の研究機関の研究責任者 | 琉球大学医学部付属病院病理診断科 松本 裕文 中頭病院乳腺科 阿部 典恵 |
| 本研究の目的 | HER2陽性乳癌におけるトラスツズマブ治療反応性について、腫瘍微小環境因子、HER2シグナル伝達に関わる因子のタンパク・遺伝子発現および臨床病理学的特徴との関係を明らかにする。これらの因子は治療のターゲットとなりうるものがattractiveであり、得られた知見は予後予測因子のみでなく、乳癌の個別化医療の推進に寄与する。 |
| 調査データ 該当期間 | 2000年から2017年に那覇西クリニックで採取された乳腺病理検体 |
| 研究の方法 (使用する試料等) | 那覇西クリニックにて病理組織診断済みのHer type乳癌症例の病理検体を用いて、タンパク発現、遺伝子増幅検索する。その結果を、病理結果報告書の閲覧、病理標本の再観察、カルテ調査によって種々の臨床病理学的因子と比較検討する。後ろ向き研究であり、侵襲・介入ともに伴わない。 |
| 試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法 | TMAおよびTMAから作成したガラス標本は琉球大学腫瘍病理学で施錠可能な場所で適切に保存され、TMA作成に使用しら個々のブロックは各病院へ返却する。対象者及びその家族等から参加拒否または同意撤回があった場合には、対象患者に関する試料・データは速やかに廃棄する。 |
| 個人情報の取り扱い | 那覇西クリニックから当該試料・情報の提供にあたり、那覇西クリニックホームページ上でそれらの項目、利用目的・方法、利用者の範囲、管理について責任を有する者の氏名又は名称、研究内容および検体利用を拒否する際の問い合わせ先を明示し、オプトアウト手続きを行う。試料・情報は匿名化して受け取り、対応表は那覇西クリニックで適切に管理する(那覇西クリニック管理者:診療部長 玉城 研太郎、管理場所:医局)。提供記録は提供開始日から3年間保管し、琉球大学側では、研究担当者が提供記録を作成し、研究終了から5年間保管する。また、論文作成時、学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いない。 |
| お問い合わせ先 | TEL:098-858-5557(那覇西クリニック内) 担当者: 新垣 美羽、宮里 勝也 |